

会 議 記 録

会議名称	令和7年度 第1回文化財審議委員会
開催日時	令和7年7月7日（月）午後1時50分から午後4時00分まで
開催場所	加古川市役所新館8階 教育委員室
出席者	<委員> 金子委員長、上月副委員長、植野委員、岡田委員、荘所委員、友久委員、吉田委員 <事務局> 教育指導部 藤原次長 文化財調査研究センター 坂本所長、宮本副所長、山中係長、高下主査
会議次第	1 開会 委員長あいさつ 2 議事 (1) 令和6年度文化財関係事業及び決算について（報告） (2) 令和7年度文化財関係事業及び予算について（報告） (3) 令和7年度市指定文化財・登録文化財候補について (4) 加古川市の文化財保護行政の充実に向けての意見交換 (5) 文化財事務及び調査に係る報告 (6) 文化財に関する意見交換 (7) 今後の予定、事務連絡、その他 3 閉会 副委員長あいさつ

議事内容

1 令和6年度文化財関係事業及び決算について（報告）

事務局から、令和6年度文化財関係事業及び令和6年度決算について報告があった。
委員から、決算について当初予算と決算に差が生じた理由の質問があり、文化財調査事業は急遽調査をすることになり9月補正予算を組んだことと、他の事業は予定どおり執行した旨説明。

2 令和7年度文化財関係事業及び予算について（報告）

事務局から、令和7年度文化財関係事業及び令和7年度予算について報告があった。
委員からの意見又は質問はなかった。

3 令和7年度市指定文化財・登録文化財候補について

事務局から、市指定文化財及び市登録文化財候補として17件の候補がある旨説明。
委員から、市登録文化財候補として志方町西中地区の花まつりの提案があった。

4 加古川市の文化財保護行政の充実に向けての意見交換

事務局から以下の3点について説明があり、意見交換を行った。

① 加古川市歴史文化基本構想改訂の計画について

「加古川市総合計画」の改定時期に合わせたい。構想の見直しについては必要があった場合に行いたい。改定については簡易な改定を予定している。

⇒委員から、基本構想の位置づけに対し質問があり、行政内で歴史文化というキーワードからひとつの将来像を作ることが位置づけであると回答した。

② 文化財審議委員会からの加古川市歴史文化基本構想検討委員について

金子委員長を加古川市歴史文化基本構想検討委員の中心人物として事務局から打診があり、承諾を得た。

③ 兵庫県内の文化財保存活用地域計画の策定状況と加古川市の策定見込みについて

① と併せて説明を行い、委員から特に意見はなかった。

5 文化財事務及び調査に係る報告

事務局から以下の内容について説明があった。

ア 文化財関係刊行物に係る報告

(ア) 『加古川市文化財年報第8号(令和4年度)』の刊行について（報告）

令和7年3月21日刊行

(イ) 西条古墳群国史跡指定50周年記念冊子『行者塚古墳～墳丘・造り出しと埴輪・土製品の概要～』の刊行について（報告）

令和7年3月21日刊行

(ウ)「文化財ニュース 68 号」の刊行について（報告）

令和 7 年 3 月 31 日刊行

(エ)「文化財解説シート 41-44 号」の刊行について（報告）

令和 7 年 3 月 31 日刊行

イ 埋蔵文化財発掘調査報告書等の刊行予定について（平成 26 年度以降の文化財調査で報告書が未刊行等のもの）

(ア)「令和 2 年度雁戸井地区ほ場整備事業に伴う西田池南遺跡本発掘調査」

令和 2 年度に現地での調査終了、遺物整理後に報告書作成、令和 4 年度に実施した広畑遺跡本発掘調査報告書と合冊で令和 8 年 3 月頃に刊行予定

(イ)「令和 3 年度雁戸井地区ほ場整備事業に伴う上村池遺跡本発掘調査」

令和 3 年度に現地での調査終了、遺物整理後に報告書作成、令和 4 年度に実施した上村池遺跡本発掘調査と合わせて、令和 8 年 3 月頃に刊行予定

(ウ)「令和 4 年度雁戸井地区ほ場整備事業に伴う上村池遺跡本発掘調査」

令和 4 年度に現地での調査終了、遺物整理後に報告書作成、令和 3 年度に実施した上村池遺跡本発掘調査と合わせて、令和 8 年 3 月頃に刊行予定

(エ)「令和 4 年度雁戸井地区ほ場整備事業に伴う広畑遺跡本発掘調査」

令和 4 年度に現地での調査終了、遺物整理後に、令和 2 年度に実施した西田池南遺跡本発掘調査と合冊で、令和 8 年 3 月頃に刊行予定

(オ)「令和 6 年度日岡山公園再整備事業に伴う南大塚古墳、西車塚古墳、広沢山遺跡本発掘調査」

令和 6 年度に現地での調査終了、遺物整理後に報告書作成、令和 10 年 3 月頃に刊行予定

委員から特に意見はなかった。

6 文化財に関する意見交換

委員から、昨年度に作製した西条古墳群国史跡指定 50 周年記念 PR 動画について、市内小中学生及び教師に教材として動画を見てもらうことは出来ないのかとの意見があり、事務局からどこかの機会を見つけて行いたいと回答した。

※その後、学校教育課と調整を行い、夏休み前を目途に、市内小中学生が持っている一人一台端末（クロームブック）から動画閲覧を行うための環境整備及び動画 PR を一人一台端末で行うこととなった。また、希望する小中学校には動画を DVD で配ることとなった。

7 今後の予定、事務連絡、その他

事務局から、11 月後半ごろに第 2 回文化財審議委員会を開催予定であることなど今後の予定について説明があった。